

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ビジネス起業経営学科(4年制)	夜・通信	2,304時間	80×4=320時間	
	ビジネス起業経営学科(2年制)	夜・通信	1,080時間	80×2=160時間	
	営業マネジメント学科(2年制)	夜・通信	1,080時間	80×2=160時間	
工業 専門課程	電子機器組込みソフトウェア学科(2年制)	夜・通信	1,224時間	80×2=160時間	
	アプリ・Web制作学科(2年制)	夜・通信	1,008時間	80×2=160時間	
	AIデザイン学科(2年制)	夜・通信	648時間	80×2=160時間	
	ゲームクリエイター学科(2年制)	夜・通信	720時間	80×2=160時間	
文化・教養 専門課程	日中越英通訳・ガイド学科	夜・通信	720時間	80×2=160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験と授業との関連を記載している。  
<https://wbc.ac.jp/school/information/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
-----

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している  
ホームページ <https://wbc.ac.jp/school/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2023.6.1～ 2025.5.31	組織運営体制への チェック機能、財務
非常勤	会社員	2023.6.1～ 2025.5.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><b>【作成について】</b></p> <p>例年開催される第 1 回教育課程編成委員会(通常 8 月)での教育課程の検討を受けて、教務部会を中心に、各授業担当の教員の意見等を取り纏め、翌年度の教育課程の編成を行う。第 2 回教育課程編成委員会(通常 3 月)における、翌年度教育課程の検討を経て、授業科目とその目的の設定、授業内容、時間割、担当教員等を教務会議にて決定する。</p> <p>各授業担当教員は、「シラバス作成ガイドライン」に従って、学則に従った授業科目、授業時間で、授業の目的、到達目標、成績評価方法、テキスト、授業計画といった決められた事項について、各学科とも統一した書式で作成し、教務会議に提出する。</p> <p>教務会議は、すべての授業科目についてシラバスの内容を検討した後、公開する。</p> <p><b>【作成・公表時期】</b></p> <p>新年度の授業開始前(通常 1 月から 2 月にかけて担当教員が授業計画書を作成、教務会議で検討の後、4 月 10 日ごろに公表)</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の学修成果は、各授業担当教員が、シラバスで公開した評価方法で、出席・学習態度・意欲(30%)、試験、成果発表、課題提出物、総合力(70%)により 100 点満点で採点し、A(90 点以上)、B(75 点以上)、C(60 点以上)、D(50 点以上)、F(50 点未満)の 5 段階で評価する。総合力では、知識・理解力、思考・推論、応用力、創造力、コミュニケーション力、学習に取り組む姿勢により、評価する。</p> <p>学則第 25 条により、A、B、C、D は合格とし、F は不合格とする。</p> <p>毎年度末に行われる進級判定会議、卒業判定会議において、全学生について、出席率が 80%以上で、成績が取得すべき単位の 80%以上合格している学生に対し、学則第 27 条により、校長が課程修了の認定を行う。</p> <p>学則、シラバスは学校HPにて公開している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)          本校では、学生の自主的な学習の促進および学生指導、就職指導等に活用することを目的として、2019年度からGPA(Grade Point Average)制度を導入している。          (「GPA(Grade Point Average)による成績評価」をHPにて公開)          各科目の成績は、シラバスで公開した評価方法で、出席・学習態度・意欲(40%)、課題(20%)、試験・総合力(40%)により100点満点で採点し、A(90点以上)、B(75点以上)、C(60点以上)、D(50点以上)、F(50点未満)の5段階で評価する。総合力では、知識・理解力、思考・推論、応用力、創造力、コミュニケーション力、学習に取り組む姿勢により、評価している。          各学生の履修科目の成績を、A(4)、B(3)、C(2)、D(1)、F(0)のグレード・ポイント(GP)に変換し、GPに当該科目の授業時間数を乗じて、その総和を履修総授業時間数で除した値をGPAとする。          GPAによる成績評価によって、学生の成績分布が分かるとともに、学習意欲の向上に役立てるように、HPで公開し、オリエンテーション、説明会等で周知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPに掲載  <a href="https://wbc.ac.jp/school/information/">https://wbc.ac.jp/school/information/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)          当校は、「未来をデザインし、社会のイノベーションに寄与する」ために、21世紀の日本と世界で、新しいビジネスに挑む、クリエイティブで社会に役立つ人材を育成することを教育理念としている。          所定の課程を修了したものは、教育目標である          &lt;1&gt;産業界が求める専門知識、専門スキル          &lt;2&gt;デザインを形にできる能力          &lt;3&gt;コミュニケーション能力          を身につけた者として、学則29条により、卒業の認定をしている。          当校ではディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)を策定し、HPに公開している。          この教育理念、教育目標は、学生の学びの指針として、入学時・進級時オリエンテーション、説明会等で周知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>HPに掲載  <a href="https://wbc.ac.jp/school/information/">https://wbc.ac.jp/school/information/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人中央情報学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.wbc.ac.jp/school/information/">https://www.wbc.ac.jp/school/information/</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ビジネス起業経営学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間/単位	1,152 単位時間 /単位	単位時間 /単位	576 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		136人	136人	4人	4人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、オンライン教材の充実。コンテスト等に参加して、スキル 向上のための取り組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨学金などによ

り支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
56人 (100.0%)	5人 ( 8.9%)	39人 ( 69.6%)	12人 ( 21.4%)
(主な就職、業界等) 会計事務所、人材派遣、実習生管理組合、宿泊業、飲食業など			
(就職指導内容) 毎週 2,3 回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 卒業生の実績として、全経簿記検定 2 級(商業) 29 名、同 3 級 36 名合格。他に FP 検定、日商簿記 2 級、3 級、日本ビジネス能力認定試験、日検 PC 表計算、日本語能力試験など複数の資格取得をしている。			
(備考) (任意記載事項) 担任教員による定期的な個別面談と各学期の補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。 また、課外活動で校外清掃などのボランティア活動を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	2人	3.4%
(中途退学の主な理由) コロナによる経済的不安から学費未納、また学習意欲の低下による欠席が続いたことによる		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ビジネス起業経営学科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3, 4 5 6	2,376 単位時間		1,080 単位時間		

生徒総定員数	単位時間			単位時間	
	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	6人	6人	4人	4人	8人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、オンライン教材の充実。コンテスト等に参加して、スキル 向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨学金などによ り支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100.0%)	0人 (0.0%)	12人 (75.0%)	4人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 製造業、小売業、飲食業他			
（就職指導内容） 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設 置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談 のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力 に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記3級1名合格、全経簿記検定3級28名合格、他に日本ビジネス能力認定試験、 日検PC表計算・文書デザイン・プレゼンテーション作成、ホテルビジネス実務検定試 験、日本語能力試験など在学习中に複数の資格取得をしている。			



(備考) (任意記載事項)  
 担任教員による定期的な個別面談と各学期の補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。  
 また、課外活動で校外清掃などのボランティア活動を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	2人	11.1%
(中途退学の主な理由) 進学、帰国(留学生)、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	営業マネジメント学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間/単位	1,008 単位時間/単位	単位時間/単位	720 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
76人	120人	120人	4人	4人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加

して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43 人 (100.0%)	7 人 (16.3%)	29 人 (67.4%)	7 人 (16.3%)
(主な就職、業界等) ユニバーサル企業株式会社／営業 株式会社稲葉製作所／生産管理 株式会社 IBS／労務管理 株式会社ジャロック／営業 等			
(就職指導内容) 学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。対面・オンラインでの面接や説明会への指導強化を行っている。校内にはキャリアセンターを設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験、日本ビジネス能力認定試験、全国経理教育協会 ZENKEI 簿記能力検定、情報処理技能者検定（各種） 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	3 人	3.4 %
(中途退学の主な理由) 帰国（留学生）、健康上の理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	電子機器組込みソフトウェア学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 728 単位時間／単位	864 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	864 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
	単位時間／単位						

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	32人	32人	2人	3人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。 授業は、理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。 数学などのより高度な内容は、授業時間外で、補講をするなどして、学習支援を行 っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100.0%)	0人 (0.0%)	20人 (87.0%)	3人 (13.0%)
（主な就職、業界等）ガイオテクノロジー株式会社、東日本技術研究所、株式会社エイム、フルハートジャパン、ハーベストジャパン、エルエスアイ研究所等			
（就職指導内容） 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験、情報処理技能検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	4人	10.3%
(中途退学の主な理由) 帰国(留学生)、経済的理由と健康上の理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	アプリ・Web制作学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,728 単位時間/単位	972 単位時間 /単位		756 単位時間 /単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	148人	111人	3人	3人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 定期的な個別面談と、進路指導により、学修支援を実施している。また、eラーニング教材の活用、産学連携の活用により、企業様による、専門的な実習授業や職場体験・インターンシップなどを実施し、実務に即したスキル取得を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

63人 (100.0%)	6人 (9.5%)	43人 (68.3%)	14人 (22.2%)
(主な就職、業界等) FPT ソフトウェアジャパン株式会社、パーソル R&D 株式会社、大王パッケージ株式会社、株式会社アウトソーシングテクノロジー、株式会社グローバルヒューマンブリッジ、株式会社リンクスタッフ、株式会社スカイテック、株式会社コードプラス、株式会社メイテックフィールドーズ、株式会社ティー・アイ・シー、株式会社 INAP Vision、UT エフサス・クリエ株式会社			
(就職指導内容) 毎週 2,3 回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者試験、Oracle Java silver、Python3、Javaプログラミング能力認定試験、IT パスポート試験、情報検定 情報活用試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74人	63人	85.1%
(中途退学の主な理由) 新型コロナウイルス感染症に関連した理由、就職、経済的理由のためなど。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期的な個別面談・家庭訪問の実施や、専門のカウンセラーによるカウンセリングを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	AIデザイン学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,728 単位時間/単位	864 単位時間		864 単位時間	単位時間 /単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
76人		58人	58人	2人	3人	5人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法

(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100.0%)	1人 (4.0%)	14人 (56.0%)	10人 (40.0%)
（主な就職、業界等）株式会社ジェイテック、株式会社スカイテック、大王パッケージ株式会社、株式会社オーリス窓のシステム開発企業、IT企業等			
（就職指導内容） 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験、TOEICなど			
（備考）（任意記載事項） 担任教員による定期的な個別面談と各学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	1人	1.7%
（中途退学の主な理由） 帰国（留学生）、経済的理由と健康上の理由のため		

(中退防止・中退者支援のための取組)  
担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲームクリエイター 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 7 2 8 単位時間/単位	864 単位時間 /単位	単位時間 /単位	864 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
132人	40人	0人	3人	4人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100.0%)	0人 (0.0%)	12人 (48.0%)	13人 (52.0%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>株式会社ベオスアイティーホールディングス、株式会社キャリアシステムズ等の IT 系企業、株式会社 LOGIC&amp;MAGIC 等のエンターテインメント系業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。増えてきているオンライン面接や Web 説明会への指導強化を行っている。校内にはキャリアセンターを設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>●産学連携イベント等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業インターンの実施 株式会社 LOGIC&amp;MAGIC、OFF 株式会社等</li> <li>・企業座談会・作品講評会の実施 グランディング株式会社、株式会社 Cygames、株式会社埼玉アニメーション等</li> <li>・作品展示機会等 東京ゲームショウ (外部)、IT 制作展 (内部) 等</li> </ul> <p>●各種コンテストへの応募・結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ゲーム大賞 2022 アマチュア部門 一次審査通過 (主催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会)</li> <li>・IIT アプリアワード 2022 アプリ部門 エンターテインメント賞、企画賞および LPI-Japan 賞 (主催：一般社団法人東京都産業情報協会)</li> <li>・第 9 回全国専門学校 CG 作品コンテスト 静止画 3D 部門 審査員特別賞 (主催：一般社団法人全国専門学校情報教育協会)</li> </ul>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>実際にゲームを制作しながら技術を学ぶことで、実践的な技術を習得すると共に、コンテスト等に積極的に取り組み、作品を業界企業より評価して頂くことで、エンターテインメントのセンスや、技術向上を図っている。</p> <p>担任教員による定期的な個別面談と各学期の補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	3 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情 (遠方への引っ越しによる継続困難等)、就業のため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	日中越英通訳・ガイド学科	○	



修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間	1,296 単位時間		432 単位時間		
		1,728 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	92人	92人	4人	4人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (100.0%)	2人 ( 3.3%)	39人 ( 65.0%)	19人 ( 31.7%)
(主な就職、業界等) 株式会社ワシントンホテル、株式会社ジャロック、株式会社ベッセルホテル開発、 JCIT株式会社など、貿易・観光・ホテル業界			
(就職指導内容) (就職指導内容) 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設 置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談 のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力 に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本語能力試験、日本ビジネス能力認定試験、旅行地理検定、旅館ホテル観光ビジネス検定、日本の宿おもてなし検定、観光英語検定、旅程管理者研修 等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>担任教員による定期的な個別面談と学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110人	7人	6.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>就職、進路変更、帰国(留学生)、経済的理由のため</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジネス起業経営学科	100,000 円	600,000 円	250,000 円	実習費、施設設備費、 教科書・教材費等
営業マネジメント学科				
電子機器組込みソフトウェア学科				
アプリ・Web制作学科				
ゲームクリエイター学科				
AIデザイン学科				
日中越英通訳・ガイド学科				
修学支援 (任意記載事項)				
学校独自の学費減免制度、奨学金制度あり。 学業成績優秀者への表彰、資格取得奨励金制度等の学修支援制度あり。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、HPに公開している <a href="https://wbc.ac.jp/school/information/">https://wbc.ac.jp/school/information/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 業界団体・企業、高等学校等の役職員及び当学園関係者から構成される学校関係者評価委員会を設置し、委員会において、当学園の自己点検・自己評価委員会が、「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省：平成25年3月)及び「学校法人中央情報学園における学校評価に関する要綱」(学校法人中央情報学園：平成24年6月1日)に基づいて取りまとめた中央情報専門学校学園自己点検・自己評価報告書を評価し、学校運営に関する改善のための助言及び支援を行うことを基本とする。委員会では、各年度において、前年度自己点検・自己評価報告書の説明、評価、検討を行う。その後、学校関係者評価報告書をホームページにてその内容を公開するとともに、改善提案を自己評価改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
東京商工会議所 人材・能力開発部人材支援センター 所長	2023年4月1日～ 2024年3月31日	企業等委員
鳥居コンサルティングオフィス 代表	2023年4月1日～ 2024年3月31日	企業等委員
前埼玉県立大宮工業高等学校長 元埼玉県立川越工業高等学校長	2023年4月1日～ 2024年3月31日	高校
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、HPに公開している <a href="https://wbc.ac.jp/school/information/">https://wbc.ac.jp/school/information/</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://wbc.ac.jp/school/information/>